

普及・啓発部会 第一回部会 議事録

日時 :平成 28 年度6月 16 日(木) 10:50~11:10
場所 :愛知県
出席者 :部会員 19 名
進行 :原 滋典

1.開会挨拶 伏木 亨 部会長

普及・啓発部会の活動を力強くするためには会員同士の結束を強くすることが大事である。今回の技・知恵部会、普及・啓発部会共催の視察・研修ツアーは、正に会員同士が親しくなり、情報交換が出来、色々なヒントが得られる機会である。

普及・啓発部会は、広く国民に対して日本の味わいを広めることを継続的なテーマとしている。実際には家庭や他のどこでも簡単にだしが引ける工夫などをして日常生活の中に和食を取り入れていくこと。また各地域・地方において、眠っているわけではないが探しに行かないと出会えないようなモノについて、実際に足を運んで見に行くこと等が大切である。今回のツアーのコースも大変厳選されたものであり、そこに携わっている人たちとの出会いを大切にしていきたい、との説明があった。

2.事業計画について 原 滋典 事務局

5月に行われた社員総会において、当部会の事業計画として承認された内容の概略の説明があった。

趣旨は以下の七点

(1) 会員向け普及・啓発活動

- ・定期的な部会の開催による会員間の関係強化や情報強化や情報共有の機会の創出。
(開催予定:6月、8月、10月、2月)

(2) 会員相互のコラボレーション促進

- ・メーカー等と料理人及び流通・小売業と食品メーカー等のコラボレーションによる通常業務に即した相互メリットの増大。

(3) 本格的なだしを普及させる為のコラボレーション

- ・簡単に本格的なだしを引く方法の啓発。

(4) マッチング事業

- ・「だしで味わう和食の日」企画への出前授業の斡旋。

(5) 広く国民に対する和食文化の魅力の発信

- ・国や民間等主催の行事、展示会への参画及びNPO等団体への協力等他の組織と連携した活動 例:「食育推進全国大会(郡山)」等。
・「だしで味わう和食の日」の企画への協力。

(6) 視察・研修ツアーの実施

- ・伝統技術を有する企業の製造現場、食材の生産現場、郷土料理の伝承の現場等を体験(6月技・知恵部会と連携)。

(7) 「和食」の総合的な情報発信

- ・HP(ホームページ)の改良を含む効率的、効果的な情報発信方法の検討及び実施。

3.閉会